

高速道路ネットワークの早期整備について

《提案・要望の内容》

本県の産業・経済の基盤強化と大規模自然災害並びに地方の雇用の創出と交流人口の拡大に備えた国土の全域にわたる強靱な国づくりに向けて、西日本の日本海国土軸を形成する山陰道、山陰近畿自動車道等の高速道路ネットワークの早期完成は県民の悲願であり、事業中区間の整備促進とともに、ミッシングリンクの解消に向け未事業化区間の調査・検討を進めること。

○「鳥取西道路」全線の平成29年度一体的供用

「鳥取西道路（鳥取西IC～青谷IC）」については、平成29年度供用予定が公表された「吉岡温泉IC～青谷IC」とともに、「鳥取西IC～吉岡温泉IC」についても一体的な供用が図られるよう、埋蔵文化財調査の集中的・計画的な実施に加え、調査が完了した区間においては速やかに工事着手し、整備を促進すること。

○「北条道路」の交通安全対策事業の早期整備及び全線自動車専用道路としての早期事業再開に向けた計画段階評価の促進

「北条道路」については、近年重大な交通事故が頻発していることから、交通安全対策事業（湯梨浜・北栄地区の交差点立体化）の早期整備を図るとともに、全線自動車専用道路としての早期事業再開に向けて、早急に計画段階評価を進めること。

○「山陰道～鳥取市福部町」の計画段階評価に向けた調査の促進

未事業化区間の『山陰近畿自動車道「山陰道～鳥取市福部町」』については、平成25年度の官民連携による勉強会において、『山陰道』・『鳥取自動車道』・『山陰近畿自動車道』の3本の路線を連結させる必要性等が示されており、当該区間の早期事業化のための計画段階評価に向けた調査を進めること。

○「米子市～境港」の道路のあり方の検討促進

北東アジアゲートウェイである「境港」及び「米子鬼太郎空港」からの物流・人流の効率化、観光地等へのアクセス向上及び緊急時の避難経路の確保など、広域的な道路ネットワークの充実・機能強化の観点から、「米子市～境港」間に必要な幹線道路のあり方や、米子市内の慢性的な渋滞の対策について、さらに積極的に検討を進めること。

○『鳥取自動車道』における付加追越車線の早期供用

『鳥取自動車道』については、高速道路本来の定時性・安全性を十分に発揮させるため、現在整備中の4区間の付加追越車線を早期に供用すること。

○『米子自動車道』・「米子道路」の4車線化及び「米子道路」における付加追越車線の早期供用

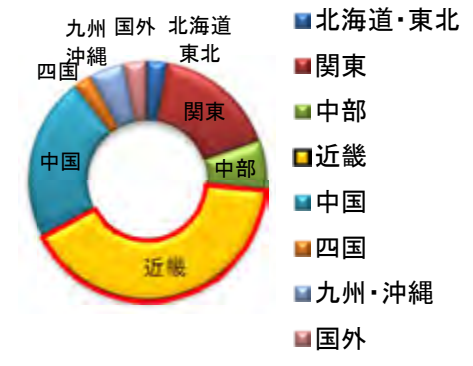
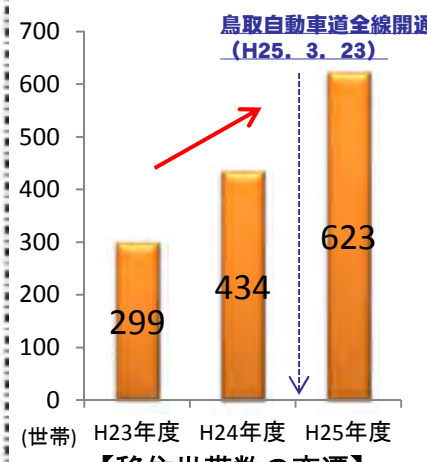
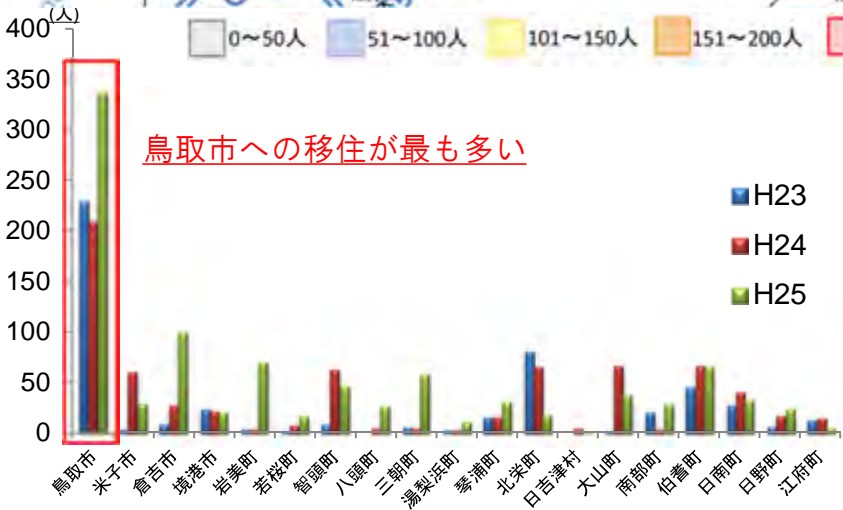
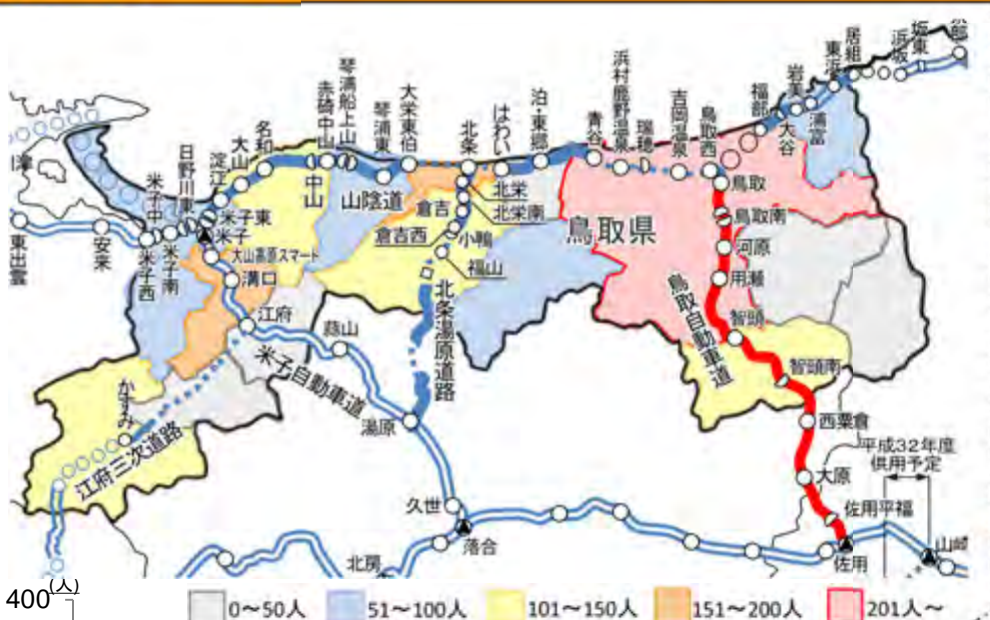
高速道路本来の定時性・安全性の確保を図るため、『米子自動車道（蒜山IC～米子IC）』・「米子道路」について4車線化を行うこと。
また、「米子道路」については、現在整備中の日野川東IC～米子南IC間の付加追越車線を早期に供用すること。

○地域高規格道路の整備促進

高速道路ネットワークを補完する地域高規格道路については、1日も早い供用を図るため、トンネル等の大規模構造物の進捗状況に応じた重点的な予算配分を行うこと。

「岩美道路」-----『山陰近畿自動車道』
「倉吉道路」、「倉吉関金道路」-----『北条湯原道路』
「鍵掛峠道路」、「江府道路」-----『江府三次道路』

要望 高速道路ネットワークと移住定住促進



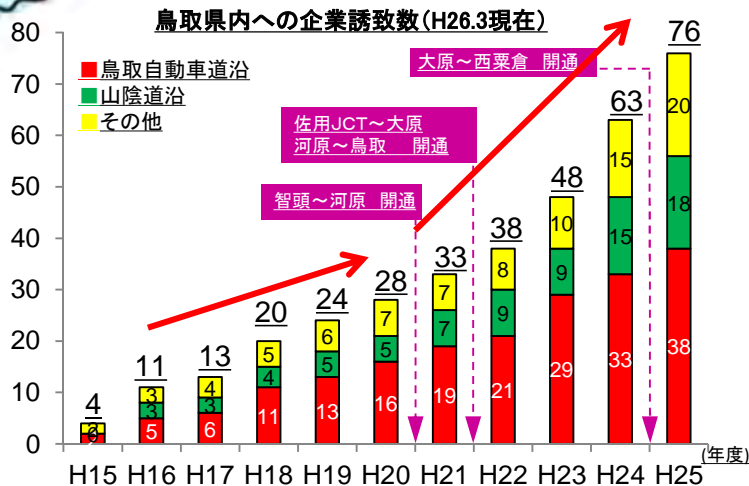
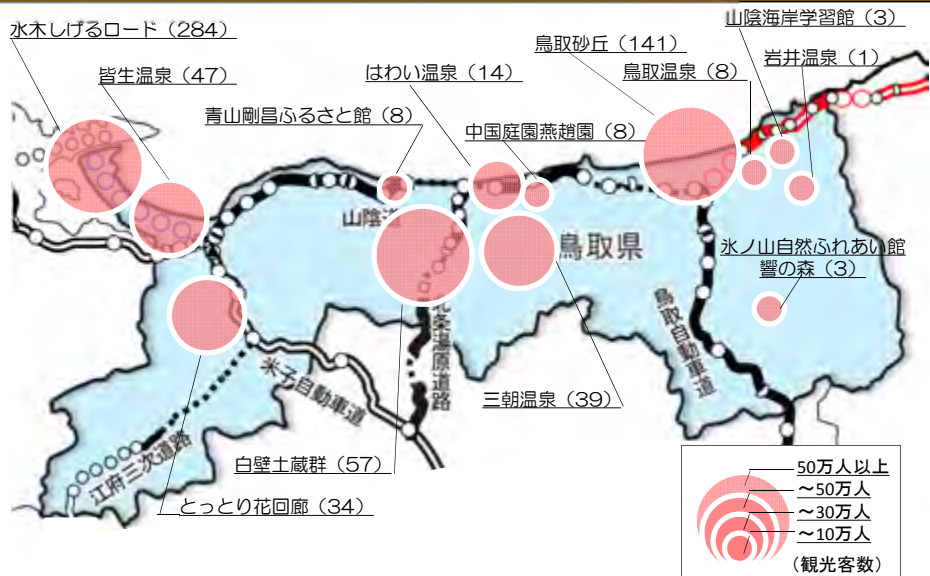
移住定住担当者の声

県中部の方で、リターンしたいが中部に希望する企業がない場合、道路の整備による通勤圏の拡大により米子や鳥取の企業を紹介し就職される例は結構ある。→高速道路がリターンを決める要素となっている面もある

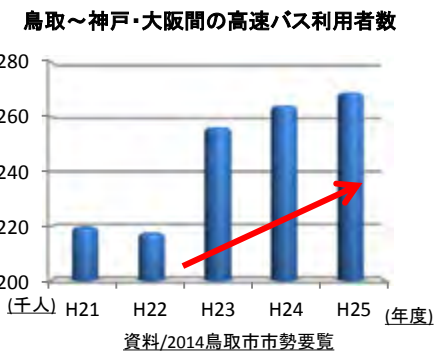
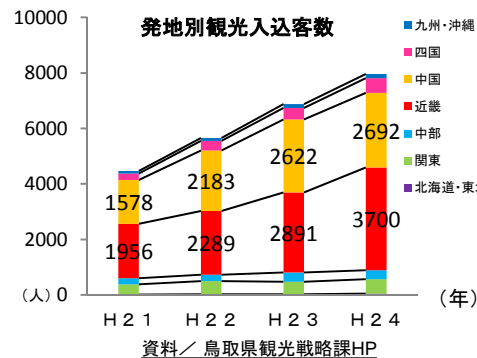
○平成23～25年度までの3年間の鳥取県への移住者は2,172人
 ○近畿地方からの移住者数が多く、鳥取市への移住が最多
 ○鳥取自動車道沿線市町への移住者数が増加傾向にあることから、
 高速道路の整備が、移住定住の一助になっている！！

○鳥取自動車道が繋がったことが、移住者定住に大きく影響。

要望 交流人口の拡大と企業立地の促進



資料/鳥取県立地戦略課提供データ(H26.4末時点)



○鳥取自動車道の整備により、鳥取県東部では**企業の進出を促進し、観光面では、関西圏からの観光客が増加！！**
⇒ **高速道路ネットワーク整備により、『雇用の創出と交流人口が拡大』**

要望

鳥取西道路全線の平成29年度一体的供用



「鳥取西道路(鳥取西IC~青谷IC)」については、平成29年度供用予定が公表された「吉岡温泉IC~青谷IC」とともに「鳥取西IC~吉岡温泉IC」についても一体的な供用が図られるよう、埋蔵文化財調査の集中的・計画的な実施に加え、調査が完了した区間においては速やかに工事着手し、整備を促進すること。

要望 北条道路の交通安全事業の早期整備

全線自動車専用道路としての早期事業再開に向けた計画段階評価の促進



既に一部区間で用地買収や路体盛土が概成



本線部については、平成2年度から用地買収(旧北条町域のみ)に着手し、横断構造物や路体盛土工事等を行っていたが、平成19年度以降は予算計上なし

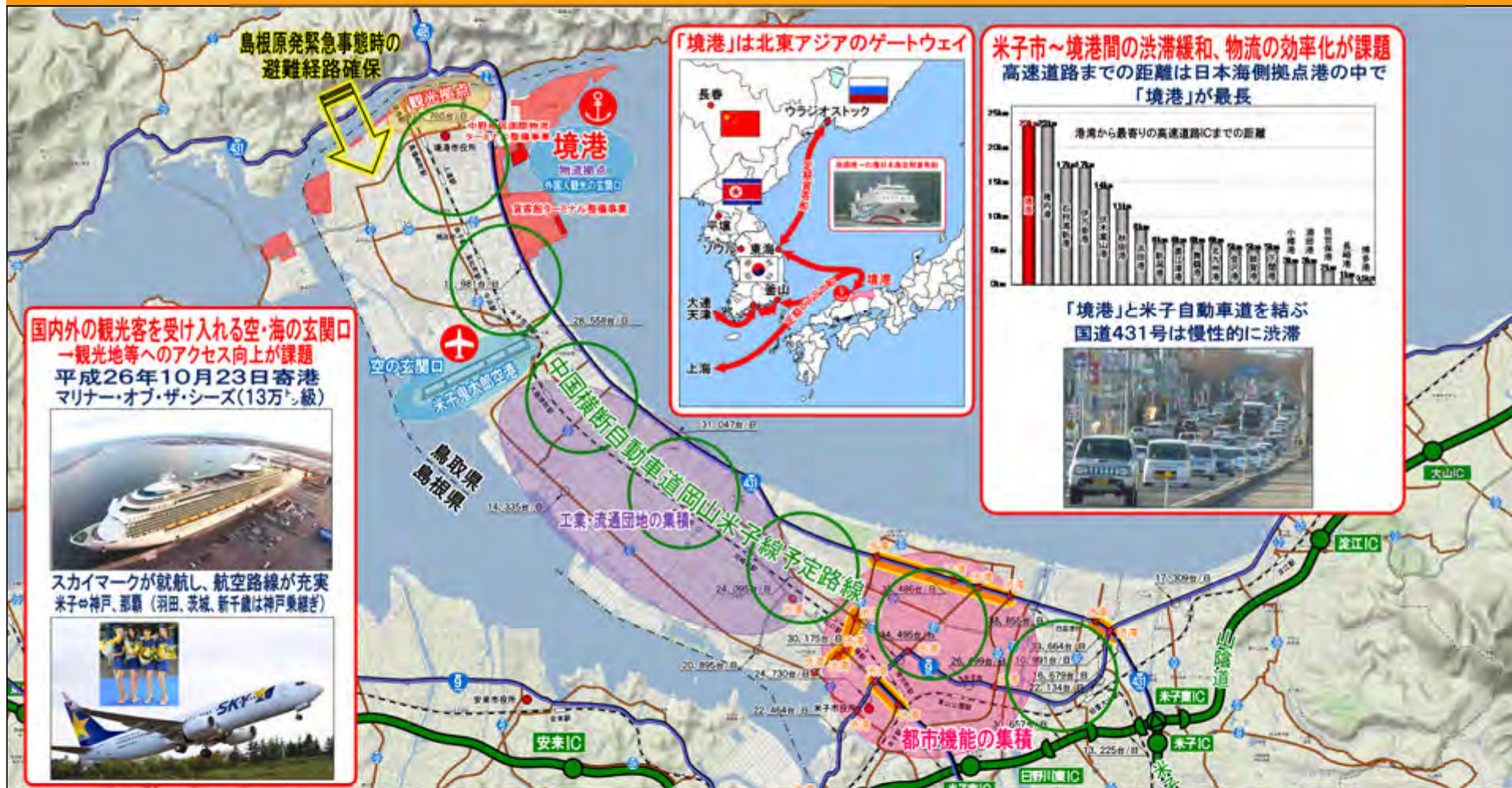
交差点部を中心に近年死亡事故が頻発



無信号を含む平面交差点を中心に重大事故が頻発しており、交通事故致死率(9.8%)は全国平均(0.6%)や県内の他区間(1.6%)と比べて非常に高い。

「北条道路」については、近年重大な交通事故が頻発していることから、交通安全対策事業(湯梨浜・北栄地区の交差点立体化)の早期整備を図るとともに、全線自動車専用道路としての早期事業再開に向けて、早急に計画段階評価を進めること。

要望 米子市～境港の道路のあり方の検討推進



北東アジアゲートウェイである「境港」及び「米子鬼太郎空港」からの物流・人流の効率化、観光地等へのアクセス向上 及び 緊急時の避難経路確保 など、広域的な道路ネットワークの充実・機能強化の観点から、「米子市～境港」間に必要な幹線道路のあり方 や、米子市内の慢性的な渋滞の対策 について、さらに積極的に検討を進めること。

要望

米子自動車道・米子道路の4車線化 米子道路における付加追越車線の早期供用



年々悪化する交通渋滞の解消



米子道路では、交通量の増加により通勤時間帯を中心に交通渋滞が発生

対面交通に起因する重大事故の防止



平成22年2月14日、米子自動車道(伯耆町金屋谷)で発生した正面衝突事故で、大学生3名が死亡。

高速道路本来の定時性・安全性の確保を図るため、『米子自動車道(蒜山IC～米子IC)』・「米子道路」について4車線化を行うこと。また、「米子道路」については、現在整備中の日野川東IC～米子南IC間の付加追越車線を早期に供用すること。